

新たな英語教育の導入について（新学習指導要領）

○小学校(R2～)

【現 状】 5・6年「外国語活動」 活動型 年間35単位時間
→「聞くこと」「話すこと」を中心

【改訂後】 3・4年「外国語活動」 活動型 年間35単位時間
→「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」を中心
5・6年「外国語」 教科型 年間70単位時間
→段階的に「読むこと」「書くこと」を加える

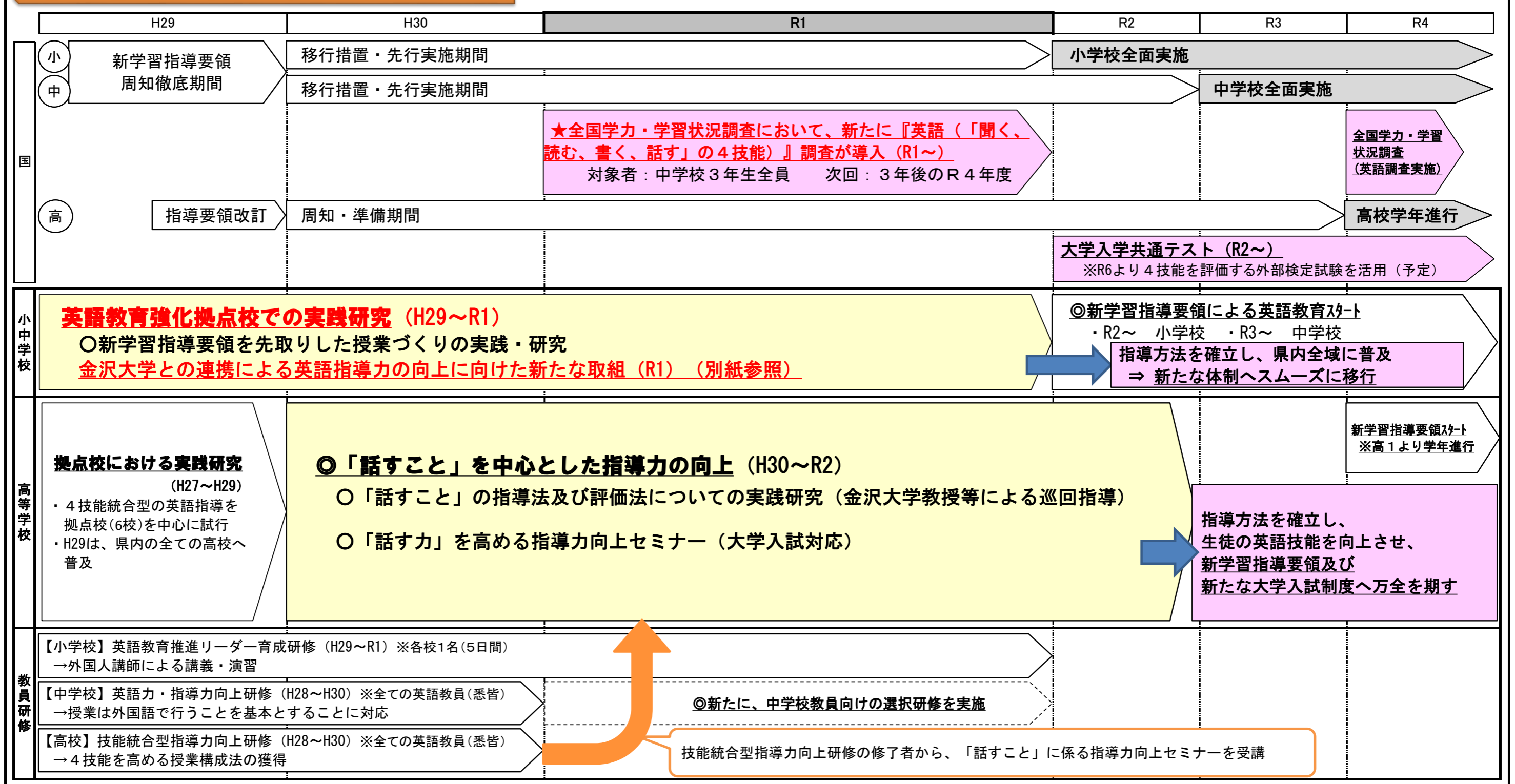
○中学校(R3～)

【改訂後】 対話的な言語活動の重視
学習した語彙や表現等を実際に活用する活動の充実

○高等学校(R4～)

【改訂後】 対話的な言語活動の重視
言語活動の高度化を図り、発信力を強化

英語教育の充実に向けて（スケジュール）



★全国学力・学習状況調査において、新たに『英語（「聞く、読む、書く、話す」の4技能）』調査が導入 (R1～)
対象者：中学校3年生全員 次回：3年後のR4年度

全国学力・学習状況調査 (英語調査実施)

大学入学共通テスト (R2～)
※R6より4技能を評価する外部検定試験を活用 (予定)

新学習指導要領スタート
※高1より学年進行